

大阪自由大学 新・大阪学事始「なにわ古代史8」

柏原・高井田山古墳

百済王族の墓か

—百済と倭(日本),河内との関係とは—

右/ 高井田山古墳の横穴式石室
下/ 出土した「ひのし」(古代のアイロン) = 柏原市立歴史資料館提供



大和川沿いにある5世紀後半の高井田山古墳。石室構造や埋葬方法など百済の古墳との共通点が多く、さらに副葬品「ひのし」(古代のアイロン)が百済国王・武寧王陵の出土品と酷似。約30年前に発掘されたが、国内や韓国の研究者の見学が絶えない。眠るのは男女2人。百済王族夫妻と考えられ、その被葬者候補が武寧王の父親ともいわれる昆支(こんき)。どんな経緯で渡来したのだろうか。発掘を担当した講師が調査の成果や、百済と倭国、河内との交流史を解説する。

講師 柏原市立歴史資料館館長 安村俊史さん

10月15日(火) 午後2時~3時半

会場: 大阪市中央公会堂大会議室(地下1階)
(大阪市北区中之島1-1-27) = 地下鉄淀屋橋駅、京阪淀屋橋駅下車

定員: 40人 参加費 1000円 要申し込み

電話: 050-5583-7403 E-mail: kansaiforum@gmail.com [大阪自由大学](#) [検索](#)

主催 大阪自由大学

